

## コロンビア

### 1. 非鉄金属一般概況

コロンビアの産業の中心は、農産物(コーヒー等)、石油(輸出の約3割)、石炭であるが、主力の石油生産は漸減傾向にあり、輸出産業の育成が課題となっている。この中で、同国の非鉄産業は、金とニッケルにほぼ限定され、他に僅かに銀、白金等が産出する程度である。しかし、この金とニッケルの両鉱種は、市況の高値推移もあり、現在、輸出産業の一翼を担っている。政府は、輸出産業育成の観点からも非鉄産業の発展を期待し、最近には東アジアに官民合同ミッションを派遣し広報に努める等、積極的な姿勢を示しているが、周辺諸国に比較し、探鉱開発活動は一部を除き低調に推移している。鉱種的にはとくに金のポテンシャルは高いとされているが、治安状況の悪さ、鉱業投資に対する長期安定的なインセンティブの欠如、鉱山エネルギー省の他省庁との調整能力不足等が、鉱業投資の阻害要因になっていると指摘されている。

### 2. 鉱業政策

2004年以内に、鉱業政策に係わる特段の動きはなかったが、以下の関連の報道があった。

- ・2005年2月、政府は鉱業・エネルギー産業分野への投資促進を目的に、輸入関税に係わる優遇策として、これら産業用として輸入する機械・装置類、スペアパーツに対する輸入関税を全額免除とする法律を公布した。
- ・2005年4月、政府は、東アジア(とくに日本、中国)からの鉱業投資促進を目的に、日本と中国に官民合同ミッションを派遣し、コロンビアの鉱業概況等を広報した。

### 3. 主要鉱産物の生産・輸出動向

金の2004年の生産量は、前年と同じ47.1t(WBMSデータ)であったが、この多くが砂金を対象とした小規模事業者による採掘であり、地域的には、コロンビア北西部のAntioquia地域で全体の5割以上が生産されている。企業レベルの生産としては、Antioquia地域に本拠を置くMineros社(前Mineros de Antioquia社)が砂金鉱床を対象に約2t、Frontino Gold鉱山

社が1.5t程度を生産している。2004年の輸出額は、約5億ドル程度と推定される。

ニッケルの2004年生産量は、前年比微増(2%増)の48.8千tで、全量がCerro Matoso鉱山から生産され、フェロニッケルとして全量が輸出されている。主要輸出先は、欧州諸国(イタリア、スペイン等)である。2004年の輸出額は、約6億ドルと推定される。

その他、僅かであるが銅(約千t)、銀(10t未満)、白金(1t未満)が生産されている。銅は、かつて本邦企業が資本参加していたEl Roble鉱山からの生産と推定されるが、同鉱山からの生産分は全量が我が国に輸出されている。

### 4. 鉱山会社概況

現在、当国において特筆すべき鉱山会社はない。

### 5. 鉱山・探鉱開発・製錬所状況

#### (1) 鉱山

・Cerro Matoso

コロンビア北部のCordoba地域に位置する、同国唯一のニッケル鉱山(BHP Billiton)で、フェロニッケルとしてイタリア、スペイン等の欧州諸国を中心に全量を輸出している。2004年のニッケル生産量は、前年比微増(2%)の48,800tであった。我が国にも一部、輸出されている模様だが、具体的な輸出货量は不明である。

同鉱山は、2001年に生産量を倍増する拡張工事(投資額353百万ドル)が完成し、その後、徐々に生産量を増やし、現在は年産5万tレベルでフル操業している。

現在の鉱量は、40百万t(ニッケル2.2%)である。

なお、かつて日本企業(日鉄鉱業他)が権益を保有していたEl Roble鉱山は、小規模ながら現在も操業を継続している模様である。

#### (2) 探鉱開発

全般に探鉱開発が低調な中で、金については企業レベルの探鉱開発が見られ、活発化する兆しにある。

・Angostura

本鉱床は、コロンビア中北部の Sandander 地域に位置する鉱脈型金鉱床で、2003 年 7 月、Greystar Resources 社(加)が F/S 実施に向けた詳細なボーリング調査等を開始した。2004 年 7 月には第 1 フェーズの調査(ボーリング 20,000m 他)を終了し、第 2 フェーズ(1 年間予定)の調査(ボーリング 40,000m 以上)を開始した。本調査の後に F/S 実施を予定している。

1995 年の調査開始以来、2004 年末までにボーリング 302 本(92,500m)等が実施されており、2004 年 5 月末時点の鉱量は 41.1 百万 t(金 1.6g/t、銀 6g/t)で、さらに推定鉱量 94.9 百万 t(金 1.4g/t、銀 4g/t)を有する。

現在、想定している開発規模は、初期開発投資額約 1 億ドル、年産金量 25 万 oz、山命 10 年である。

その他、注目される探鉱開発活動として、2004 年 10 月、AngloGold Ashanti 社(南ア)が、コロンビア南部の Bolivar 州の Serrania de San Lucas 地域で、大規模金鉱床の発見を目指し探鉱を開始した。

## 6. 我が国との関係

非鉄鉱業分野におけるわが国企業との事業関係、輸出入関係については、Cerro Matoso 鉱山産のニッケルの一部をフェロニッケルとして輸入している模様だが、詳細は不明である。また、El Roble 鉱山から生産される銅(精鉱)を全量輸入しているが、銅量としては年間約千 t レベルである。

(2005.5.5/リマ事務所 辻本 崇史)